

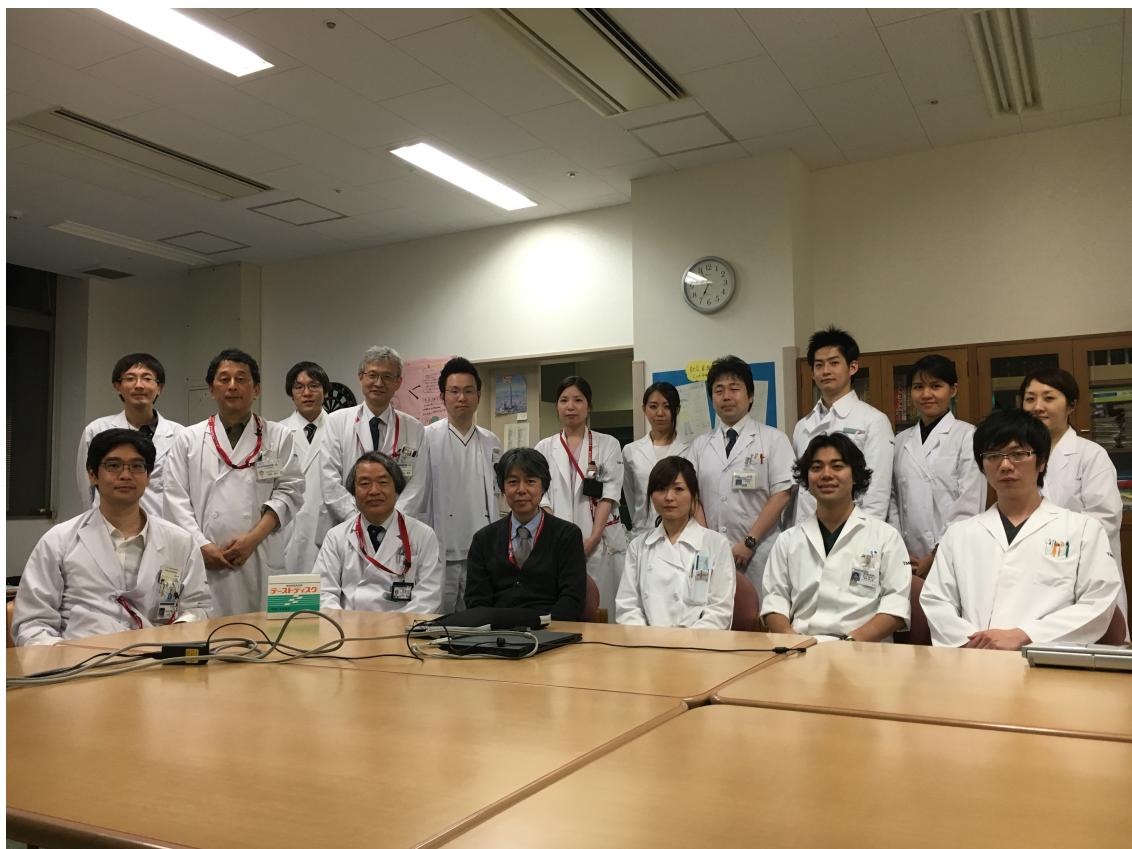
第 5 回 精神科・歯科心身医療外来による

医科・歯科連携セミナー

日時:2016 年 4 月 28 日(木) 18 時~19 時

場所:B 棟 2 階 精神科外来デイケア室

1. 「紹介症例のその後・Oral DRS と AQ 指数の関連」 精神科:上里
2. 「当科における舌痛症患者の臨床統計的検討」 歯科心身:竹之下
3. 「味覚検査;テーストティスクの使用法」 歯科心身:梅崎



恒例の精神科との勉強会も、もう 5 回目。少しづつ共同研究の業績も積み重なり、連携専門外来の設置など医療連携もますますスムースに運ぶようになり

ました。今回は精神科にお願いしたセネストパチーの症例から発達障害との関連についてのデータを供覧して頂きました。いろいろな病態が混在する可能性がある病気で治療法が変わってきますので、特に若い男性症例については注意が必要と感じました。

当科からは舌痛症 300 余例の治療成績から、痛みの程度が強い、うつ傾向が弱い、頭痛の既往の 3 要素が三環系抗うつ薬の反応予測因子になりそうなことを発表しました。精神科では慢性疼痛には SNRI がよく使われるとの由で、興味を持って頂けました。また精神科からのリクエストで味覚検査について簡単なデモを行いました。

終了後は、懇親会で精神科の先生たちと情報交換を行いつつ、楽しく親睦を深めました。

